

第652回建設技術講習会を松山市で開催

第652回建設技術講習会が、松山市において平成31年2月27日(水)～同3月1日(金)の3日間、「災害復旧」をテーマに、全国から279名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の2講演と講習会3日目の現場研修で視察する地域事業等の紹介が行われました。

- 平成30年度災害の概要と災害復旧事業採択について ～災害復旧制度・注意点と最近の話題～
- 国土交通省の災害初動対応について
～TEC-FORCEの取り組み～
- 地域事業の紹介 2事業

講習会2日目は、下記の講演が行われました。

- 港湾関係災害復旧事業の概要について
- 都市災害復旧事業制度の概要について
- 【特別講演】土木偉人宮本武之輔に学ぶ
～土木黎明期における土木技術者の功績～
- 【地元自治体の取り組み】愛媛県における平成30年7月豪雨の対応と今後の取り組み
- 公共土木施設に係る災害復旧事業と改良復旧事業について

講習会3日目の現場研修は、153名が参加して「内子の歴史町並保存・景観保全」、「大洲城復元事業」、「肱川直轄河川事業」について現地で説明を受けました。現場間移動の途中で通る広範囲にわたった「平成30年7月豪雨での肱川浸水被害の現地」では車中から説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、恒例となった「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を57名の



講演の様子

国土交通省水管理・国土保全局防災課
総括災害査定官 加邊 良徳 氏



現場研修の様子

肱川直轄河川事業 (上老松地区)

参加をいただいて開催しました。地元協会のご好意により、「蛇口からミカンジュース」や地元の銘酒などが用意され、盛況のうちに終了となりました。

平成30年度の講習会・実地研修会は、この第652回をもって終了しました。多数の皆様のご参加をいただき、ありがとうございました。

なお、平成30年度の各講習会等の詳細や会場写真などは、全建ホームページの「技術情報」から「講習会等」に入り、「(平成30年度)第643回～652回建設技術講習会・実地研修会」からご覧いただけます。

2019年度も、8月の長野市を皮切りに2020年2月の鹿児島市まで10回の講習会と4回の実地研修会の開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

全建ホームページ <http://www.zenken.com/>



平成30年度全建賞の審査が始まりました

—全建賞予備審査委員会—

平成30年度全建賞については、全国から314事業という多数の応募をいただきました。ありがとうございました。

この審査の手始めとなる「全建賞予備審査委員会(第1回)」が、平成31年3月15日(金)、協会会議室において岡村次郎委員長(国土交通省大臣官房技術調査課長)はじめ委員12名と委員代理2名、幹事7名の出席のもとに開催されました。

予備審査委員会では審査方法など下記の事項が確認されました。

- 審査日程と応募状況について
- 各予備審査委員の担当部門について
- 予備審査方法の確認 など

授賞の決定までには、4月中旬の第2回の予備審査委員会で314事業を約1/3程度の授賞候補事業に絞り込み、5月上旬の審査委員会でさらに絞り込んで80事業程度を選定し、5月中旬に開催される理事会で決定する、という手順を今後踏んでいきます。